

## 工事記録写真撮影要綱

### 1. 目的

工事写真は、施工管理の一手段として工事の工程ごとの施工状況、使用材料並びに仮設工事、全管理等の記録を残すとともに、工事完了後、外面から確認できない箇所が出来形確認を行うことを目的とする。また、併せて工事成果物（施設）の維持管理にも資するものである。

当要綱は工事記録写真の撮影及び整理等について基本的な事項を定めるものであり、受注者はこの要綱にしたがって工事記録写真を作成するものとする。

### 2. 写真の分類

工事記録写真は、次のとおり分類する。

- ①着工前及び完成
- ②施工状況
- ③安全管理
- ④使用材料
- ⑤品質管理
- ⑥出来形管理
- ⑦災害
- ⑧事故
- ⑨その他（公害、環境、補償等）

### 3. 撮影方法

#### 3.1. 撮影要領

写真は、契約図書に基づき工事が適正に施工されたことを証明するものであり、特に工事完成後の不可視部分についての立証資料となるものであるため、以下の事項に留意して撮影する。

- ①写真管理担当者を定め、あらかじめ写真撮影計画を作成して撮影及び管理を行う。
- ②状況写真は、施工の位置及び状況が容易に確認できるよう家屋、地物等を背景に入れて撮影する。  
なお、1枚で状況が確認出来ない場合は、組写真にする。
- ③品質（出来形）管理等の写真は、必要に応じて検査・試験・測定等を行っている全景（被写体の全体状況）と、併せてその数値等が確認できるように近距離からも撮影する。
- ④完成写真は、着手前写真と対照できるよう同一箇所から撮影する。
- ⑤被写体の形状・寸法が判定できるように、必ず寸法を示す器具（箱尺またはリボンテープ、ポール等）を入れて撮影する。
- ⑥夜間工事は、夜間作業中であることが判別できるような写真とする。
- ⑦撮影箇所、内容及び頻度は、「5. 撮影内容及び頻度 表-1」に基づき実施するものとする。ただし、表-1に記載のない工種については、類似工種を準用するものとする。また、監督員が指示する箇所及び記録に残す必要があると思われる箇所については撮影しなければならない。
- ⑧設計図書と工事現場とが一致しない場合、施工条件が相違する場合等、設計変更の根拠資料として

必要な被写体は、監督員の指示を受け撮影するものとする。

- ⑨工事施工中に天災その他災害又は工事に起因する第三者災害等が発生した場合は、その状況及び状態並びに臨機の処置状況を迅速、確実に撮影するものとする。

### 3.2. 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した工事黒板を用い、その記載された文字が判読できるよう被写体とともに写し込むものとする。

- ①工事名
- ②工種等
- ③測点（位置）
- ④設計寸法
- ⑤実測寸法
- ⑥略図

### 3.3. 撮影機器

撮影機器は、デジタルカメラまたは35ミリフィルムカメラとする。デジタルカメラを使用する場合は、有効画素数は黒板等の文字、数値等の内容が判読できる機能及び精度を確保できることを指標とする（有効画素数100万画素～300万画素程度、縦横比は3：4程度）。

### 3.4. 撮影箇所

撮影は、表-5に示す箇所のほか、監督員が指定する箇所又は記録に残す必要のある箇所とする。

### 3.5. 撮影時期

写真管理担当者は、写真撮影の目的を十分に理解し、工事の進捗状況及び施工内容を把握し、施工前、施工中及び施工後など適切な時期に撮影する。

## 4. 整理・編集

### 4.1. 写真帳

写真帳の大きさは、A4サイズを標準とする。なお、表紙は「中津川市水道工事標準仕様書 第7章 様式第16号」により工事契約書表紙に記載されている工事名、工事番号等に加え請負者名等を記入する。

### 4.2. 写真の整理

- ①写真撮影後は、速やかに工事の進行順に写真帳へ整理し、余白に写真説明又は概略図を明記する。
- ②写真帳の巻頭に案内図及び位置図を付し、撮影箇所と写真が対比できるようにしておく。
- ③写真は、カラー写真とし、大きさはサービス版程度を標準とする。
- ④電子媒体で記録した写真データのプリントはカラー印刷とし、大きさについては、原則としてA4サイズ用の紙にサービス版程度を標準にした枚数の写真をプリントする。なお、カラープリンタを

使用する場合は、フルカラー600dpi以上、インク、用紙等は通常の使用条件の下で3年間程度の期間、顕著な劣化が生じないものを使用すること。用紙は、カラー印刷専用紙又は同等品以上を使用すること。

⑤請負者は工事記録写真を適切な管理の下に保管し、監督員の請求時及び検査時に提出する。

#### 4.5. 写真帳の提出

①写真は、工事の進行に合わせて写真帳へ整理し、監督員の請求があった際には速やかに提出できるようにする。

②工事が完成した際は、工事記録写真として工事写真帳と原本を監督員に提出する。

③原本としては、ネガ（APSの場合はカートリッジフィルム）又は電子媒体とする。

④電子媒体はCD-Rを原則として、これ以外の電子媒体の場合は、監督員の承諾を得るものとする。

⑤電子媒体の記録画像ファイル形式は、JPEG形式（非圧縮～圧縮率1/8まで）を原則とし、これ以外による場合は監督員の承諾を得るものとする。

⑥電子媒体の提出前には、必ずウイルス対策を行うこと。

⑦提出する電子媒体CD-R本体と格納ケースには工事契約書表紙に記載されている工事名、工期、工事番号等に加え請負者名等を容易に消えない方法で記入する。

5. 撮影内容および頻度

表-1 工種別撮影基準表 (1/4)

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
一般	現場状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工前と施工後の現場状況を同一箇所から同一方向から撮影する。</li> <li>・既設物と占用位置等の関連を撮影する。</li> <li>・その他重要箇所および指定箇所。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	注) <b>実施箇所毎</b> : 工事現場が点在している場合、その各範囲内において左記内容の撮影を行う。  <b>〇〇m 毎</b> : 工事現場が連続している場合に適用。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種標識類、工事看板の設置状況</li> <li>・各種保安施設の設置状況</li> <li>・監視員等の交通整理状況</li> <li>・安全教育等の実施状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m 毎 (種類毎)</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎 (種類毎)</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施毎</li> </ul>	
仮設工	土留工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形状・寸法、使用数量、保管状況、品質証明、検査実施状況等</li> <li>・架設状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m 毎 (品目毎)</li> <li>・実施箇所又は 20m 毎</li> </ul>	
	仮設配管工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用材料</li> <li>・布設状況</li> <li>・仮設給水分岐 (仮設消火栓含)</li> <li>・保温工 (仮設電源、配線、保温チューブ他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロット 毎 (搬入単位)</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
土工	試験堀工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘削位置</li> <li>・埋設物の位置、オフセット、土被り、配列等</li> <li>・道路復旧状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
	掘削工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装カッター切断状況</li> <li>・舗装取壊し状況</li> <li>・掘削状況 (機械、人力)</li> <li>・掘削深さ及び幅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> </ul>	
	発生土処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬経路</li> <li>・受入地状況</li> <li>・残土仮置場の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適所 毎 (主要幹線道路等)</li> <li>・受入地 毎 (許可看板等)</li> <li>・指定場所 毎</li> </ul>	
	埋戻し工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋戻し状況</li> <li>・巻出し状況 (厚さ)</li> <li>・締固め状況 (転圧)</li> <li>・保護砂充填状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> <li>・実施箇所又は 40m 毎</li> </ul>	

表-1 工種別撮影基準表 (2/4)

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
基礎工	サンドベツド等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工状況</li> <li>・厚さ及び施工範囲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> </ul>	
配管工	配管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管吊り込み状況</li> <li>・管吊り込み状況（伏越し部、分岐部等線形が変化する箇所、切管接合部）</li> <li>・管弁類の設置状況</li> <li>・土被りおよび占用位置（オフセット）</li> <li>・管接合状況（接合工程）</li> <li>・出来形管理</li> <li>・溶接部検査状況</li> <li>・配管布設状況</li> <li>・配管布設状況（伏越し部、分岐部等線形が変化する箇所、切管接合部）</li> <li>・既設管連絡状況</li> <li>・ポリエチレンスリーブ被覆状況</li> <li>・明示シート、テープ設置状況</li> <li>・水圧試験（加圧、時間経過後）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所、管種毎に 1セット</li> <li>・実施箇所又は各管種、各口径継手箇所数の 10%以上</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所（全スパン）</li> </ul>	配管状況については、伏越し部や分岐部等線形が変化する箇所は全数撮影。
	不断水工（分岐、ストッパ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工状況（各工程）</li> <li>・施工完了状況（設置状況）</li> <li>・弁室設置状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
	配管撤去工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管弁類の撤去状況</li> <li>・撤去管の検尺</li> <li>・撤去材の集積または車上積込状況</li> <li>・撤去材の処分状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所又は 40m毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・適時</li> </ul>	撤去延長が確認できるよう、撤去管検尺。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付属金物（はしご、振止め金具、ステップ金物等）の取付け状況。</li> <li>・コンクリートブロック、弁室頂版等の据付状況</li> <li>・鉄蓋据付状況</li> <li>・表示板等の取付け状況（弁仕様等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	

表-1 工種別撮影基準表 (3/4)

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
水管橋・橋梁添架	水管橋、橋梁添架	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管材料検査</li> <li>・添架部材（ブラケット、アンカ等）の取付け状況</li> <li>・添架の状況</li> <li>・接合部検査状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 スパン毎</li> <li>・実施各箇所 1 回</li> <li>・1 スパン毎</li> <li>・接合部毎</li> </ul>	
	付属設備（防渡柵、落橋防止設備等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管材料検査</li> <li>・部材の取付け状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 スパン毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
舗装工	路盤工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転圧状況</li> <li>・不陸整正状況</li> <li>・厚さ</li> <li>・幅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> </ul>	
	表層工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅</li> <li>・タックコート、プライムコート散布状況</li> <li>・転圧状況</li> <li>・整正状況</li> <li>・厚さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎に 1 回</li> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎 80m に 1 回</li> <li>・各層毎 1000 m<sup>2</sup> に 1 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コア採取した場合は写真不要。ただし、採取状況（位置）写真要。</li> </ul>
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガードレール、ガードパイプ、植栽、街渠、側溝、区画線、標識等の撤去及び復旧状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
漏水修繕工	給水装置修繕工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水箇所</li> <li>・修繕箇所</li> <li>・一次復旧状況（路盤、AS 転圧、厚さ他）</li> <li>・一次復旧完了</li> <li>・埋め戻し復旧状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	
	配水設備修繕工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水箇所</li> <li>・修繕箇所</li> <li>・その他作業状況および完了状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> <li>・実施箇所毎</li> </ul>	

表-1 工種別撮影基準表 (4/4)

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
品質管理	路盤工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場密度の測定</li> <li>・粒度試験</li> <li>・平板載荷試験</li> <li>・土の液性限界、塑性限界試験</li> <li>・含水比試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種路盤毎に1回</li> <li>・各種路盤毎に1回</li> <li>・各種路盤毎に1回</li> <li>・実施毎</li> <li>・実施毎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察により異常が認められた場合、試験実施</li> <li>・観察により異常が認められた場合、試験実施</li> </ul>
	アスファルト舗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場密度の測定</li> <li>・搬入、舗設温度測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合材の種別毎に1回</li> <li>・合材の種別毎に1回</li> </ul>	
その他	支障物件	・支障物件の位置、寸法および処理状況等	・実施箇所毎	
	完成後確認困難箇所	・水中または地下や構造物に埋没する施設等	・適時	
	他企業の立会い	・立会い状況	・実施箇所毎	
	災害、事故	・工事中の災害、事故状況と復旧状況	・適時	
	補償関係	・被害または損害状況	・適時	

なお、上記以外の写真管理については、「国土交通省 土木工事写真管理基準」及び「岐阜県建設工事共通仕様書（写真管理基準）」を準拠する。

改定履歴

制定、施工 平成 29 年 4 月 1 日